

# 伊奈学園総合高等学校同窓会 定期総会

日時：2015年9月6日（日）13:00～

場所：伊奈学園総合高等学校 外国語棟3階（第6学習室）

## 式次第

### ○開会挨拶

### ○議案審議

- ・ 議案第1号 2014年度事業報告
- ・ 議案第2号 2014年度決算報告（案）
- ・ 議案第3号 2014年度監査報告（案）
- ・ 議案第4号 2015年度事業計画（案）
- ・ 議案第5号 2015年度予算計画（案）
- ・ 議案第6号 2016年度事業計画（案）
- ・ 議案第7号 2016年度予算計画（案）

### ○人事案

- ・ 2015年度役員人事（案）
- ・ 2016年度役員人事（案）
- ・ 理事名簿（2015年6月30日現在）

### ○閉会挨拶

# 議案第 1 号 2014年度事業報告

## 1 一般活動報告

- 2014年6月8日(日) 13:00~17:00 第1回四役会
- 2014年7月6日(日) 13:00~17:00 第1回理事会
- 2014年9月7日(日) 13:00~16:00 定期総会
- 2015年1月18日(日) 18:00~20:00 第2回四役会
- 2015年2月15日(日) 18:00~20:00 第2回理事会
- 2015年3月12日(木) 15:30~16:00 第29期卒業生 同窓会入会式

## 2 委員会活動報告

### 2.1 会報誌編集委員会

2014年8月に inajin36号を発行した。

伊奈学園創立30周年を機に発行回数を年1回(夏)とし、配布対象を全正会員として配布をしている。これに伴い、以前のルールに沿って卒業後11年目以降の継続送付会費を収めた正会員に対して、公平を期するために、支払った継続送付会費を全額返還する(もしくは同窓会に寄付して頂きたい)旨本誌に記載している。2014年度は1名の返金希望があり、全額を返した。なお、返金を開始した2012年度からの累計で20名に返金を行い、6名から寄付の申し出があった。

継続送付会費を収めた正会員は132名おり、残り106名について返金または寄付のどちらを希望するか不明となっている。

ここ数年懸念されていた製作スタッフへの負担は体制改革により大分軽減されており、依然として製作スタッフの不足は否めないものの、安定的な発行が可能となりつつある。

### 2.2 会員名簿維持管理委員会

2014年3月に卒業し、同窓会の正会員となった第28期生797名を会員名簿に追加した。

2015年3月末現在の正会員数および2014年度の会員名簿の更新状況は別紙1のとおり。

### 2.3 ウェブサイト維持管理委員会

2014年度のウェブサイト更新実績は、別紙2のとおり。その他、ウェブサイト構成の再検証を行った。

今後、多くの同窓会関係者に幅広い更新を行ってもらうことを前提に、ウェブサイトの更新を専門的知識が無くても可能かどうか、各構成を再検証した。現時点で「Movable Type (以下MT)」というCMS(コンテンツマネジメントシステム)を使いウェブサイトを構成してみたが、結論としては、MTの内部の構成により、コンテンツの所在が専門家でも判断しづらい上、結局専門的知識がないと構成できないことが判った。また、MT自体がマイナーなシステムであり、さらなるウェブサイトの向上には不相応であることから、これを踏まえて、2015年度に構築する新しいシステムの要件を検討した。

### 2.4 ホームカミングパーティ実行委員会

3期合同での実施は2013年度で終了し、卒業からちょうど10年となる2015年度の19期生単独開催に向けて準備をした。未来へのハガキの検索作業をしたが引き続き確認中。

## 2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

2014年11月20日（木）15時から伊奈学園にて希望者を対象として、卒業生による講演会を開催した。開催状況は別紙3のとおり。

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイトにて講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集した。

## 2.6 年次活動推進委員会

2014年度の年次理事補助金制度の利用は、2件（4期および19期生同窓会）だった。

事業計画では「廃止も視野に入れた見直しを検討する」としていたが、利用者があるため廃止の検討は行わないこととした。制度があまり活用されていない現状であるが、その背景に告知の不足が考えられるので、今後ウェブサイト、会報誌 Inajin、理事メーリングリスト等を活用し周知をしていく。

また理事に3名の候補者が出ている。理事のいない年次もあることから引き続き充足に力を入れていく。

## 2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、2014年10月19日（日）に第6回および2015年3月14日（土）に第7回の「いなじんたまり Bar」を開催した。開催状況は別紙4のとおり。

## 2.8 会則改正検討委員会

2014年9月7日（日）の定規総会において交通費支給に伴う会則および細則の改正案が承認された。今後、内規の整備を進める。

## 議案第2号 2014年度決算報告（案）

別紙5参照

## 議案第3号 2014年度監査報告（案）

別紙6参照

## 議案第4号 2015年度事業計画（案）

### 1 一般活動計画

2015年6月21日（日）18:00～21:30	第1回四役会
2015年7月12日（日）13:00～17:00	第1回理事会
2015年9月6日（日）13:00～16:00	定期総会
2016年1月17日（日）13:00～17:00	第2回四役会
2016年2月14日（日）13:00～17:00	第2回理事会
2016年3月	第30期卒業生 同窓会入会式

### 2 委員会活動計画

#### 2.1 会報誌編集委員会

同窓会活動、OBOGの活躍およびイベントの告知など、情報発信を目的として会報誌を発行する。

2015年度も引き続き年1回（夏）発行し、全正会員に配付することとしたい。（配布対象については、卒業後11年目以降の正会員にも継続して配布したい。定期的に会報誌を届けることにより、同窓会活動に興味を持ってもらい、同窓会活動に積極的に参加してもらうよう促すことを目的とする。卒業後10年間に限定していた頃に比べて2012年度以降、名簿の更新依頼が増えていることから一定の効果が認められる。）

特に今年度は来年度に同窓会30周年も控えているので、できる限り多くの人に周知できるように会報誌を活用したいと考えている。

会計報告では、継続送付会費の返還について106名の意思が確認できていない。全員への返還（または寄付）が終わるまでは会報誌上にお知らせを記載する予定なので、今年度も掲載予定。

懸念事項としては、年間に約800人正会員が増加することから、印刷・送付については年度ごとに検討を続ける必要があると考える。毎年の予算を圧迫し、同窓会内の預金の利用が必要な事態になる場合は、印刷及び全員送付は困難になるものと考えられるので、名簿維持管理委員会及びウェブサイト維持管理委員会と連携し、常に会員数の増減に注意して状況に対応できるようにする。印刷・送付に代わる全員配布方法も模索したい。

収入についても、ページ数を増やして広告スペースを増やし、広告収入を増やすべきだという意見や、広告収入を一切やめてもよいのではという意見など、様々でているので継続して検討していきたいと思う。

また、会報誌の表紙等の人選や掲載内容について、これまでは同窓会として精査する流れがあまりなかったので、片寄りや適性を考慮し多角的な判断・意見を反映できるように制作・編集の過程において同窓会の確認を受ける仕組みを考えたいと思う。諸事情により会報誌の送付を望まない正会員がいたことに配慮し、送付中止の要望を受け付ける旨を記載することなど、対応できていないことを達成する。

ここ数年、学校渉外部との連携が悪くなっているので、部数や配布方法などを担当の先生と綿密に連携を取るようにして、印刷部数に無駄がないようにする。2015年度は昨年度と同等の発行数となる予定であるが、市況により紙の高騰や業者コストの上昇が懸念されるのでしっかりと交渉し予算内に収まるようにする。[別紙7](#)参照

## 2.2 会員名簿維持管理委員会

2015年3月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる29期生788名を会員名簿に追加する。

正会員からの申し出により登録情報の変更を行うとともに、必要に応じてクラス会や部活動等における会合の案内を取り次ぐ。

## 2.3 ウェブサイト維持管理委員会

同窓会活動報告をウェブサイトに掲載する。その他、以下の取り組みを行う。

### 2.3.1 ウェブサイトを構成するシステムの改新

ウェブサイトが、各役員が更新できるようなシステムで構築できるよう検討。近年スマートフォンやタブレット等からウェブサイトを見る人が増えたことも含め、それらにも対応したデザインで、誰もが気軽に訪れることができるウェブサイト作りを目指す。

### 2.3.2 サーバ及びドメインの移行[別紙8](#)参照

現在、ウェブサイトなどを管理しているサーバは、最近のコストパフォーマンスに優れたサーバと比べるとコストが高く、さらにドメインもサーバの会社名が入っており、サーバ

攻撃を受けやすい状態であり、セキュリティ上好ましくない。よって、コストパフォーマンスに優れたサーバへの移行と、「inagaku-dousou.net」のような独自ドメインの取得を検討する。

#### 2.4 ホームカミングパーティ実行委員会

19期生を対象にしたホームカミングパーティーを2015年10月17日（土）に大宮の東天紅で開催する。

また、第20期から「未来へのハガキ」を配付しているため、今後、「未来へのハガキ事業」による活動を計画する。

#### 2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

伊奈学園を卒業し、社会の中で活躍している方々に在校生とお話をしていただき後輩たちの進路に役立ててもらうことを目的として、PTA および後援会の協力のもとに講演会を実施する。開催日は2015年11月を予定。[別紙9](#)参照

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイト講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集する。

#### 2.6 年次活動推進委員会

議決機関である理事会の充足と各年次間の交流の活性化を促す。

2011年以降に卒業した理事に、理事会の告知がされていなかったことから、メーリングリストへの理事の登録を確実にを行うとともに、メーリングリストを活用して理事会への参加を促すこととする。[別紙10](#)参照

また、今年度から理事会出席のための交通費を支給することから、理事会の告知に合わせて申請の案内を行う。

年次理事補助金制度が活用されていないことから、他の事業との連携も含めた見直しを検討する。

#### 2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、「いなじんたまり Bar」を開催する。

委員会のメンバーを増強し、演奏会などの企画を交えた新しいスタイルで参加者を増やす努力をする。

開催日は2015年7月および2015年11月を予定。

#### 2.8 会則改正検討委員会

名簿登録情報の扱い（同窓会名簿登録変更申請「登録情報の扱いについて〈詳細はこちら〉」に掲載）等、これまでの内規の整備を進める。

#### 2.9 同窓会30周年記念事業実行委員会

2014年9月の総会にて承認をいただいている同窓会初の周年事業に向け実行委員会を立上げた。2016年10月2日（日）のイベント開催に向け内容を協議する。[別紙11](#)参照

## 議案第5号 2015年度予算計画（案）

2014年9月7日（日）の総会で承認された予算計画を、下記のとおり見直す。

修正後の予算計画は別紙12のとおり。

- ・会報誌継続購読料繰入収入について、2014年度決算を踏まえ、特別会計の残額に修正した。
- ・ウェブサイト維持管理費について、新システム構築費用を加算した。
- ・会報誌制作費、会報誌等印刷費および会報誌通信費について、消費税率の上昇（5%→8%）分が含まれていなかったため、消費税分を加算した。
- ・HCP 事業費について、19期へのHCP 開催案内×800通、当日上映する映像作成費、会場の上映機器レンタル代を加算した。
- ・会報誌継続購読返金（過年度分）について、2014年度決算を踏まえ、特別会計の残額から返金に充当する分に修正した。
- ・前期繰越収支差額の修正を受け、予備費に差額を計上した。
- ・2014年度決算を踏まえ、前期繰越収支差額を修正した。

修正前		修正後	
I 収入の部		I 収入の部	
4. 会報誌継続購読料繰入収入	520,000	4. 会報誌継続購読料繰入収入	516,573
II 支出の部		II 支出の部	
1. 運営費		1. 運営費	
ウェブサイト維持管理費	70,000	ウェブサイト維持管理費	870,000
2. 事業費		2. 事業費	
会報誌制作費	740,000	会報誌制作費	800,000
会報誌等印刷費	685,000	会報誌等印刷費	702,000
会報誌通信費	1,600,000	会報誌通信費	1,633,000
HCP 事業費	50,000	HCP 事業費	350,000
会報誌継続購読返金（過年度分）	500,000	会報誌継続購読返金（過年度分）	496,573
3. 予備費	0	3. 予備費	3,081,210
前期繰越収支差額	920,000	前期繰越収支差額	5,211,210

## 議案第6号 2016年度事業計画（案）

### 1 一般活動計画

- 2016年6月 第1回四役会
- 2016年7月 第1回理事会
- 2016年9月 定期総会
- 2016年10月 同窓会創立30周年記念事業（大人のいなほ祭・10月2日開催予定）
- 2017年2月 第2回四役会
- 2017年3月 第2回理事会
- 2017年3月 第31期卒業生 同窓会入会式

### 2 委員会活動計画

#### 2.1 会報誌編集委員会

同窓会活動、OBOG の活躍およびイベントの告知など、情報発信を目的として会報誌を発行する。

2016年度も引き続き年1回（夏）発行し、全正会員に配付することとしたい。（配布対象については、卒業後11年目以降の正会員にも継続して配布したい。定期的に会報誌を届けることにより、同窓会活動に興味を持ってもらい、同窓会活動に積極的に参加してもらうよう促すことを目的とする。卒業後10年間に限定していた頃に比べて2012年度以降、名簿の更新依頼が増えていることから一定の効果が認められる。）

特に今年度は同窓会30周年も控えているので、できる限り多くの人に周知できるように会報誌を活用したいと考えている。

会計報告では、継続送付会費の返還について106名の意思が確認できていない。全員への返還（または寄付）が終わるまでは会報誌上にお知らせを記載する予定なので、今年度も掲載予定。

懸念事項としては、年間に約800人正会員が増加することから、印刷・送付については年度ごとに検討を続ける必要があると考える。毎年の予算を圧迫し、同窓会内の預金の利用が必要な事態になる場合は、印刷及び全員送付は困難になるものと考えられるので、名簿維持管理委員会及びウェブサイト維持管理委員会と連携し、常に会員数の増減に注意して状況に対応できるようにする。印刷・送付に代わる全員配布方法も模索したい。

収入についても、ページ数を増やして広告スペースを増やし、広告収入を増やすべきだという意見や、広告収入を一切やめてもよいのではという意見など、様々でているので継続して検討していきたいと思う。

また、会報誌の表紙等の人選や掲載内容について、これまでは同窓会として精査する流れがあまりなかったので、片寄りや適性を考慮し多角的な判断・意見を反映できるように制作・編集の過程において同窓会の確認を受ける仕組みを考えたいと思う。

ここ数年、学校渉外部との連携が悪くなっているので、部数や配布方法などを担当の先生と綿密に連携を取るようにして、印刷部数に無駄がないようにする。2016年度は昨年度を少し上回る発行数となる予定であるが、予算内に収まるよう調整する。別紙13参照

## 2.2 会員名簿維持管理委員会

2016年3月に卒業し、新たに同窓会の正会員に加わる30期生約800名を会員名簿に追加する。

正会員からの申し出により登録情報の変更を行うとともに、必要に応じてクラス会や部活動等における会合の案内を取り次ぐ。

## 2.3 ウェブサイト維持管理委員会

同窓会活動報告をウェブサイトに掲載する。

## 2.4 ホームカミングパーティ実行委員会

20期生対象のホームカミングパーティーを実施する。

また、「未来へのハガキ事業」による活動を計画する。

## 2.5 先輩と夢を語ろう実行委員会

伊奈学園を卒業し、社会の中で活躍している方々に在校生とお話をしていただき後輩たちの進路に役立ててもらうことを目的として、PTA および後援会の協力のもとに講演会を実施する。開催日は2016年11月を予定。

なお、開催にあたっては、同窓会ウェブサイト講師募集の掲載を行い、同窓会正会員の中から広く講師を募集する。

## 2.6 年次活動推進委員会

議決機関である理事会の充足と各年次間の交流の活性化を促す。

## 2.7 いなじん交流推進委員会

卒業生同士の交流を目的として、「いなじんたまり Bar」を開催する。

委員会のメンバーを増強し、演奏会などの企画を交えた新しいスタイルで参加者を増やす努力をする。開催は年2回（8月および11月）を予定。

## 2.8 会則改正検討委員会

名簿登録情報の扱い（同窓会名簿登録変更申請「登録情報の扱いについて〈詳細はこちら〉」に掲載）等、これまでの内規の整備を進める。

## 2.9 同窓会30周年記念事業実行委員会

2016年10月2日（日）に「大人のいなほ祭」を開催する。

第1回実行委員会での協議の結果、会場が「埼玉県県民活動センター（通称：けんかつ）」に決定したことから、けんかつ担当者に予算について確認した。

ステージでの記念式典・アトラクション等を企画して報償費や経費などを計算した概算計算書に基づき予算案を作成した。[別紙14](#)参照

## 議案第7号 2016年度予算計画（案）

2015年度予算から以下の項目を変更する。[別紙15](#)参照

- ・ウェブサイト維持管理費について、2015年度でサイトの移行が完了することから、2014年度と同額を見込んだ。
- ・会報誌等印刷費および会報誌通信費について、卒業生追加に伴う送付先の増分を見込んだ。
- ・HCP事業費について、20期を対象とした事業内容が未定のため、2014年度と同額を見込んだ。
- ・20期より未来へのはがき事業による活動がスタートすることから、20期への葉書返送代を事業費に新規計上した。
- ・同窓会30周年記念事業に伴う予算項目を新設し、同事業の予算を新規計上した。

2015年度予算（案）	2016年度予算（案）
II 支出の部	II 支出の部
1. 運営費	1. 運営費
ウェブサイト維持管理費                    870,000	ウェブサイト維持管理費                    70,000
2. 事業費	2. 事業費
会報誌等印刷費                            702,000	会報誌等印刷費                            750,000
会報誌通信費                              1,633,000	会報誌通信費                              1,700,000
HCP事業費                                  350,000	HCP事業費                                  50,000
	未来へのはがき返送費                    85,000
	同窓会30周年記念事業費                  1,250,000

## 伊奈学園同窓会 2015 年度役員人事（案）

（★印以外は 2014 年通常総会にて承認済み）

役 職	氏 名	年次等	担 当
会 長	<small>むらまつ たけし</small> 村松 猛	4 期	同窓会 30 周年記念事業実行委員会
副 会 長	<small>はたけやま あつし</small> 畠山 篤士	6 期	いなじん交流推進委員会
副 会 長	<small>いしかわ たけし</small> 石川 剛	8 期	
専門委員長	<small>じょうぐち あつひろ</small> 城口 敦弘	4 期	会則改正検討委員会
専門委員長	<small>たなか けんいち</small> 田中 健一	4 期	年次活動推進委員会
専門委員長	<small>かとう あゆむ</small> 加藤 歩	10 期	ウェブサイト維持管理委員会
専門委員長	<small>はまの じゅんや</small> 浜野 絢也	10 期	名簿維持管理委員会
専門委員長	<small>はやさか たくのり</small> 早坂 拓紀	13 期	会報誌編集委員会
専門委員長	<small>こむらかた けん</small> ★小村方 健	19 期	ホームカミングパーティ実行委員会
専門委員長	<small>はまの たくや</small> ★濱野 拓也	24 期	先輩と夢を語ろう実行委員会
理 事	(別紙参照)		
監 事	<small>きくち のりお</small> ★菊地 則夫	1 期	
監 事	<small>ごとう まさひろ</small> 後藤 昌弘	1 期	
会 計	<small>ふなさき たみこ</small> 船崎 多美子	2 期	
顧 問	<small>あだち てつや</small> 足立 哲也	現学校長	
顧 問	<small>はら まさゆき</small> 原 雅之	1 期	
顧 問	<small>かねこ けいいち</small> 金子 桂一	3 期	

伊奈学園同窓会 2016 年度役員人事（案）

只今確認中

伊奈学園同窓会理事名簿						
	1	2	3	4	5	6
1期	青木 かおり	針谷 信二	長野 啓江			
2期	大崎 哲司	中根 一幸	川窪 葉子			
3期	武井 洋人	氏家 健司	小室 雅成	駒井 香子		
4期	藤 裕之	永井 愛				
5期	岡部 忠亮	北野 真				
6期	菊池 孝一					
7期	乾 理	渡辺 敏光	大塚 一慶	箱田 卓也		
8期	菅原 文仁					
9期	岩崎 一彦	高橋 彰宏				
10期	矢部 雅志	野川 太樹	石松 恒			
11期	鹿野 智孔	新井 兼	佐藤 千恵美	越智 浩一		
12期						
13期	伊藤 靖剛					
14期	佐野 大輔					
15期	前島 沙織	眞藤 泰生				
16期						
17期	石川 佳央里					
18期	開 真紀					
19期	小林 香	鈴木 信博				
20期						
21期	奥山 宏美	野本 麻恵				
22期	坂井 望					
23期	山田 篤寛					
24期	山田 暢史	濱田 祐輔	八幡 佑里	藤間 朱美	森下 凌介	
25期	菅原 美咲	佐野 禎哉	薄木 翔子			
26期	小谷野 愛巳	北澤 拓夢	二村 亜里沙	斉藤 淳	田中 喬祐	
27期	森 亮樹	郷田 光希	濱野 ひと美			
28期	関口 真史	中久保 まり子	梅村 勇斗			
29期	大久保 将利	大山口 梨乃	大鷲 芹菜	野口 真也	藤原 環	井野 志保

グレー文字以外は2014年通常総会にて承認済み